

一般社団法人 中央区地域スポーツクラブ大江戸月島

理念・目的

クラブは、地域住民の世代を超えて、いつでも誰でも気軽にスポーツや文化活動が出来る場として、「地域の皆さんの健康づくり」「地域コミュニティの活性化」を図ることにより、「活気ある、顔の見えるまち」を地域で作りに上げることを目的としています。

歴史

- 2008年 設立のための「勉強会」発足
- 2011年5月 設立準備会発足
- 2013年2月 クラブ設立総会
- 2018年11月 「おもてなし大作戦2014」50回記念清掃
(東京2020参画プログラム)
- 2020年8月 一般社団法人登記

設立経緯

中央区より当時の体育指導員が地域スポーツクラブ設立に向けた勉強会を発足させ、設立に向けての準備をすすめました。中央区内で人口が増えている月島地域にクラブを設立することを決め、行政の協力のもと、スポーツ推進委員、町会、小中学校PTA会長、区内施設管理者などが協力をして中央区で初めての地域スポーツクラブを2013年に設立しました。

「地域の皆さんの健康づくり」

「地域コミュニティの活性化」

「活気ある、顔の見えるまち」



テストページ (イメージサンプル)

(一社)中央区地域スポーツクラブ大江戸月島様のご協力で作成しました。ご参考ください。成果品はデザインや内容等異なる場合があります。



クラブの特色・クラブ自慢

- 幼児～小学生が急激に増えている地域のため、子ども向けのプログラムが中心となっています。(2021年4月現在70教室)
- 教室指導者については、元オリンピックメダリスト、プロ野球選手、Fリーグ選手、プロなどの各種指導者や、地域に根付いたスポーツ推進委員、中央区スポーツ指導者などを配置しています。
- スポーツを中心に地域への貢献教室として、「働き世代の親子スポーツ教室」、「校庭開放 活性化事業～すぼぐら～」、「部活動指導」、「障害者スポーツ教室」など中央区と一緒に事業を開催しています。
- 文化地域貢献として、フラワーアレンジメント、ウクレレ教室を実施し、地域の発表会などにも出演しています。
- 選手村がクラブ活動範囲内にあるので、2020オリンピック・パラリンピック関連として「選手村周辺清掃活動」を2014年1月より実施。2021年7月の開催に向けて地元企業、中央区と協力してオリンピック・パラリンピック関連の事業を開催します。

今後の課題・目標・夢

「隣の顔がみえる月島」をつくるため、増え続ける人口に対応できるプログラムの提供や、あまり運動をしない高齢者や障害者、働き盛り世代の保護者に向けた働きかけなど、今までの子ども中心運営から広く区民の方が参加できる環境をつくります。そのために、クラブの運営基盤強化や活動場所を確保し、スポーツを基盤とした地域の活性化、地域における交流を目指したコミッションの設立を目指していきます。
また、会員のコミュニティの場としての「クラブハウス」の確保は、大きな目標です。

基本情報

- ◇事務局 中央区月島3丁目
- ◇代表者 山主英樹 (代表理事)
- ◇電話 -
- ◇Mail contact@oedo.tokyo.jp
- ◇URL https://oedo.tokyo.jp/?page_id=50

- ◇主な対象エリア 月島地域
- ◇主な活動場所 月島第一小学校 豊海小学校
月島社会教育会館 など

◇活動種目

- スポーツ活動 17種目
水泳、テニス、サッカー、バドミントン、フットサル、フラッグフットボール、野球、ホッケー、チアダンス、ハワイアンフラダンス、チアリーディング、クラシックバレエ、体操、ヨガ、陸上(かけこ)、合気道、空手
- 文化活動 3種目
ウクレレ、ダーツ、寺子屋(学習)

- ◇活動タイプ 教室・スクール形式 20 サークル・部形式 3
- ◇恒例・定例行事・大会
クラブ体験会(3～4月)

- ◇会員数 909人
- ◇世代割合 子供 86.0% おとな 10.5% シニア 3.5%
- ◇クラブ役員 13名
- ◇クラブスタッフ 20名
- ◇指導者 内部指導者 20名 外部指導者 50名
- ◇総会構成会員数 12人

QR